

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	現代科学技術論		
英文授業科目名	Modern Science and Technology		
開講年度	2006年度	開講年次	2年次
開講学期	前期集中	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択必修科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	各教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
hisano@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>この科目は人間コミュニケーション学科の基幹科目のひとつで、1年次の基礎セミナーに引き続いて、学科教員が(交代で)担当します。3学期終了後、学科教員がオムニバスで行う講義です。 この科目の目的は以下の通りです。</p> <p>1)「コミュニケーションをめぐる科学技術とその社会的・文化的応用」という学科の中心的な教育・研究領域に関して、先端的な知・問題群を学習する。 2)あわせて各講座・研究室でおこなわれる専門研究を概観する。 3)これによって、高年次における勉学へのイントロダクションとする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし。

【教科書等】
特定の教科書は使わない。必要に応じて、資料を配布する。

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

2006年度は、集中講義のかたちで授業をおこない、人間コミュニケーション学科を構成する3領域「社会コミュニケーション学」「メディアコミュニケーション」「科学技術コミュニケーション学」のそれぞれに関して、講義・演習等をおこなう予定。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価は出席とレポートでおこないます。

- 1) 出席：履修者は原則としてすべての講義に出席すること。
- 2) レポート：締め切りは10月9日、詳細は授業中に指示する。

【オフィスアワー：授業相談】

【学生へのメッセージ】

【その他】